



都城市道路占用工事等標準断面図

都 城 市
令和5年





車道の復旧の際の標準的な舗装構成を定める

諸元

舗装設計便覧（日本道路協会）に基づく諸元とする

※既存の舗装構成の規格（ T_A ）が、標準舗装構成を上回る場合は、**原形復旧**とする

アスファルト舗装

① 舗装の構造設計には、 T_A 法を用いる 出展：舗装設計便覧P62

★ T_A 法に基づき、等値換算係数を用いて、 T_A 値を満足させる

② 設計期間は10年とする

★設計交通量を定める設計期間は10年とする

③ 舗装の信頼性は、50%、75%、90%を用いる

★整備済街路は90%、一般市道は50%、75%、90%を用いる

④ 設計CBRは、4及び8とする

★一般市道は路床が軟弱な箇所が多いため設計CBR4とする

★整備済街路は路床を置き換えている可能性が高いため、設計CBR8とする

⑤ 目標とする T_A 値は以下のとおりとする

★下表参照

交通区分	設計CBR8	設計CBR4		
	信頼度90%	信頼度90%	信頼度75%	信頼度50%
N ₅ （B交通）	19	-	-	-
N ₄ （A交通）	-	18	-	-
N ₃ （L交通）	-	14	12	11

出展：舗装設計便覧P82 表5.2.14

コンクリート舗装

① 経験に基づく設計法を適用する 出展：舗装設計便覧P147

★経験に基づく設計法と理論的設計法の中から経験に基づく設計法を適用する

② 舗装計画交通量は、N₃（L交通）及びN₅（B交通）とする

★一般市道はN₃（L交通）、整備済街路はN₅（B交通）とする

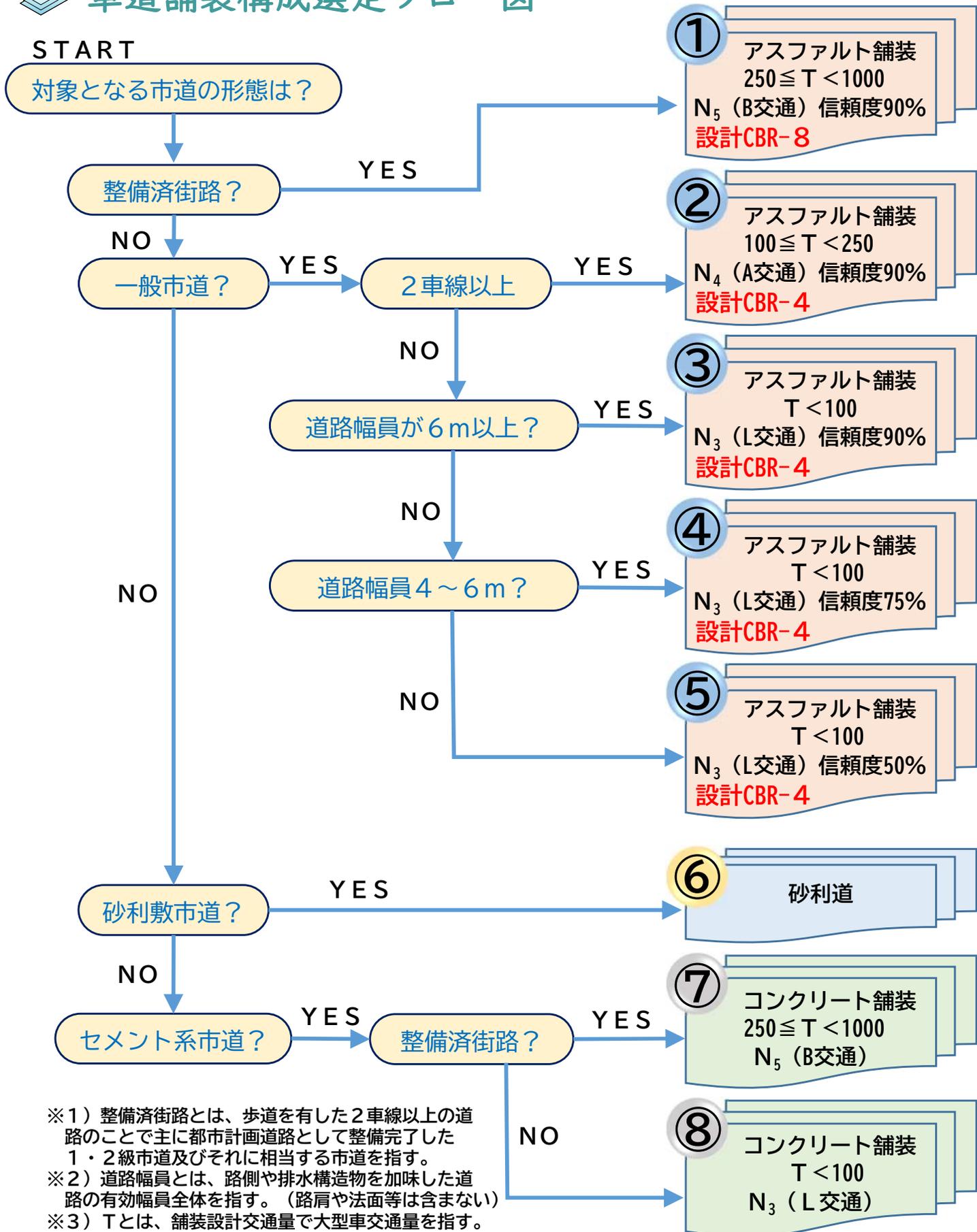
③ 舗装設計期間は20年とする

★設計交通量を定める設計期間は20年とする



車道の復旧の際の標準的な舗装構成を定める

車道舗装構成選定フロー図



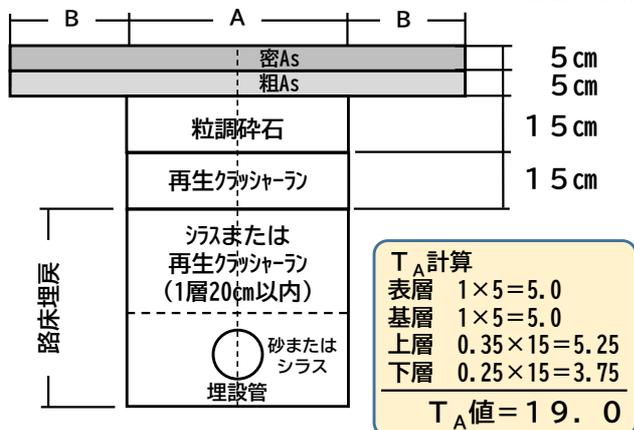


標準断面図 (車道部①)

① アスファルト系舗装道路

250 ≦ T < 1000 N₅ B交通 信頼度90% 設計CBR-8

整備済街路

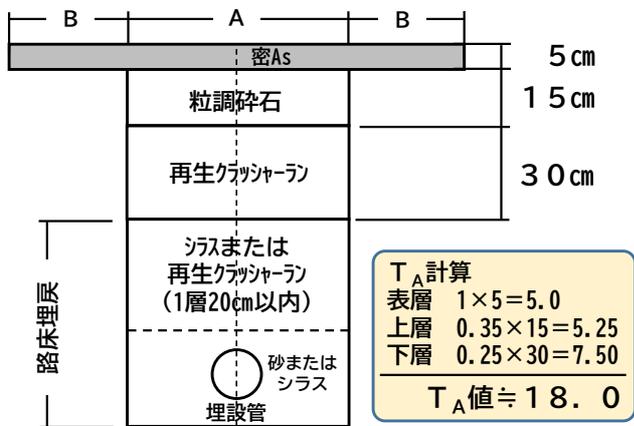


※舗装断面はあくまでも標準であり、T_A値を満足する厚さであれば、施工者の提案する断面でも構いませんが、その際は、担当者と協議をして下さい。

② アスファルト系舗装道路

100 ≦ T < 250 N₄ A交通 信頼度90% 設計CBR-4

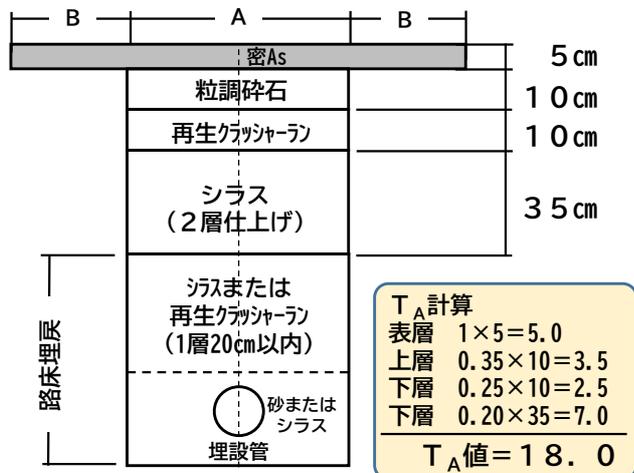
一般市道 (2車線以上)



② アスファルト系舗装道路

100 ≦ T < 250 N₄ A交通 信頼度90% 設計CBR-4

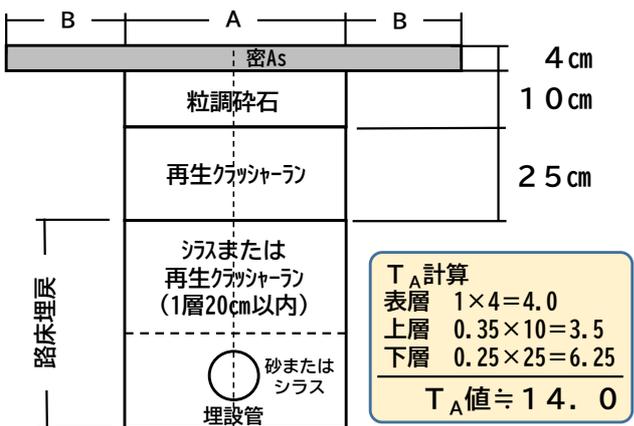
一般市道 (2車線以上)



③ アスファルト系舗装道路

T < 100 N₃ L交通 信頼度90% 設計CBR-4

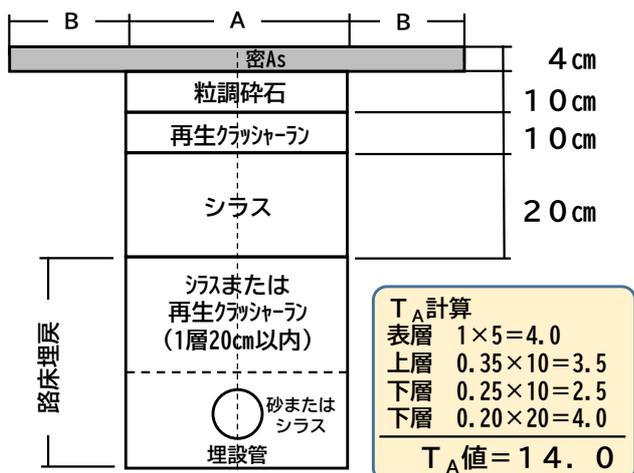
一般市道 (W = 6m以上)



③ アスファルト系舗装道路

T < 100 N₃ L交通 信頼度90% 設計CBR-4

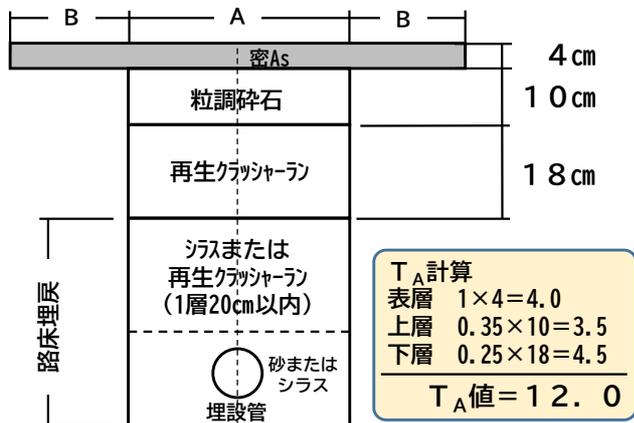
一般市道 (W = 6m以上)



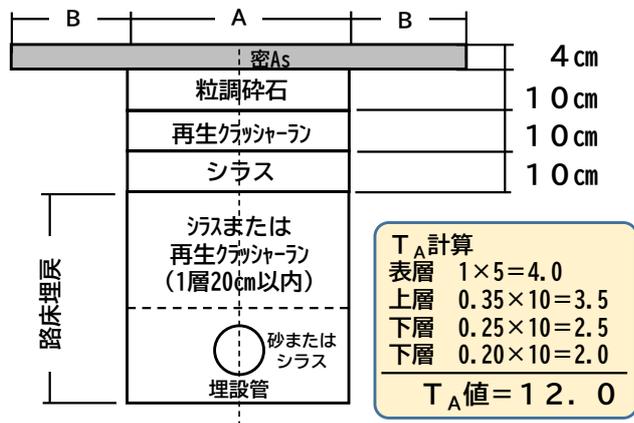


標準断面図 (車道部②)

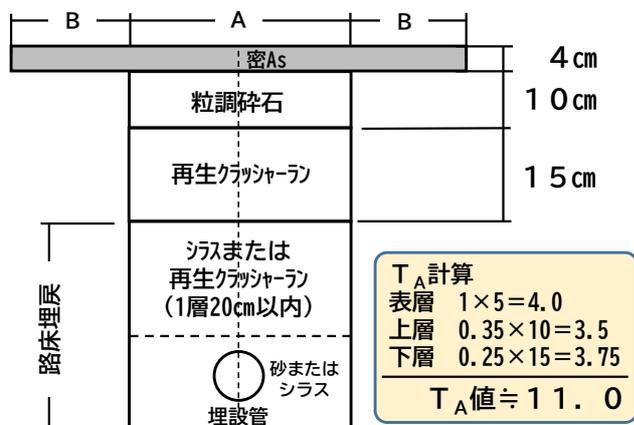
④ アスファルト系舗装道路
 T < 100 N₃ L交通 信頼度75% 設計CBR-4
 一般市道 (4 ≤ W ≤ 6 m)



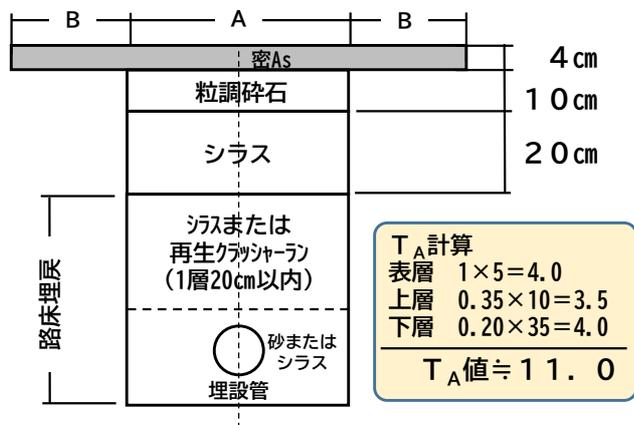
④ アスファルト系舗装道路
 T < 100 N₃ L交通 信頼度75% 設計CBR-4
 一般市道 (4 ≤ W ≤ 6 m)



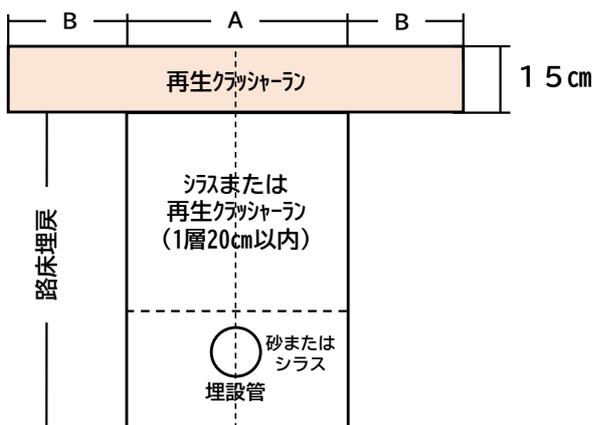
⑤ アスファルト系舗装道路
 T < 100 N₃ L交通 信頼度50% 設計CBR-4
 一般市道 (W = 4 m未満)



⑤ アスファルト系舗装道路
 T < 100 N₃ L交通 信頼度50% 設計CBR-4
 一般市道 (W = 4 m未満)



⑥ 砂利道

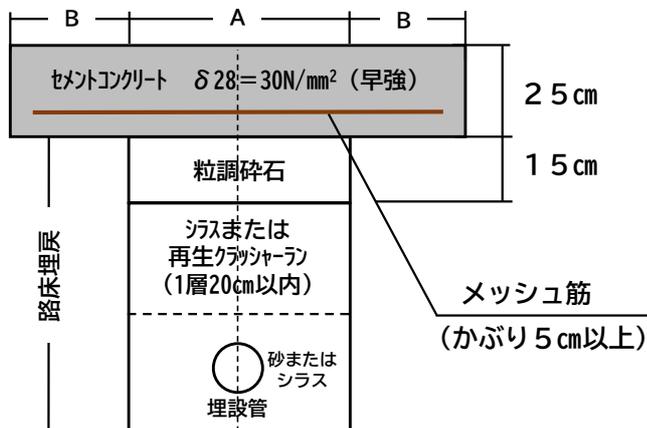


標準断面図 (車道部③)

T < 100 N₃ L交通 信頼度50% 設計CBR-4

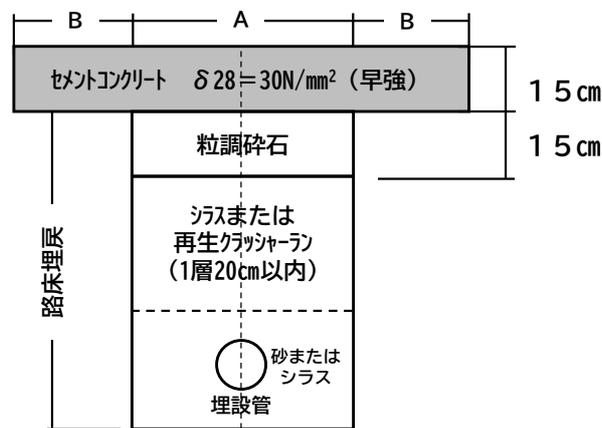
⑦ コンクリート舗装道路

整備済街路 100 ≤ T < 250 N₅ B交通



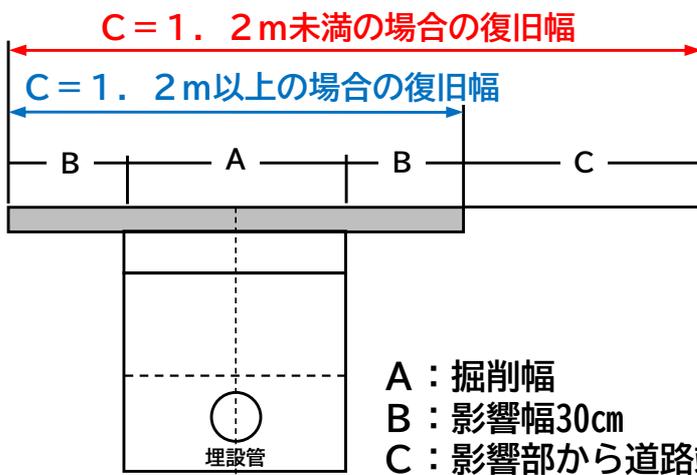
⑧ コンクリート舗装道路

一般市道 T < 100 N₃ L交通



【参考】 占用工事に伴う復旧幅について

～影響部の考え方～ 道路法施行規則第4条の4の7 (埋戻し又は表面仕上を行う道路の部分)

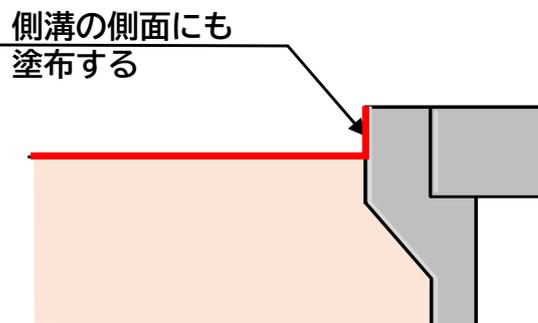
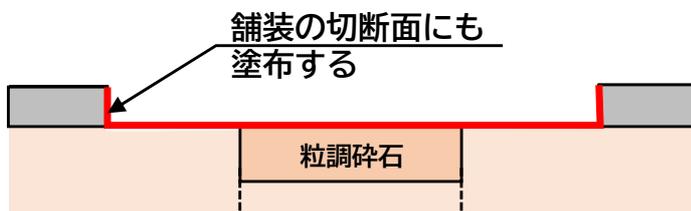


●道路状況等により左図によらない場合やその他の舗装の場合は事前に協議をお願いします。

●Cの値が1.2を超える場合でも、舗装の状態が悪い場合は、道路管理者と協議して下さい。

【お願い】 アスファルト乳剤の塗布について

舗装前に路盤の乾燥や乱れを防ぐためにアスファルト乳剤を塗布しますが、舗装の切断面や側溝などの側面にもブラシ等で入念に塗布して下さい。





歩道の復旧の際の標準的な舗装構成を定める

諸元

舗装設計便覧（日本道路協会）に基づく諸元とする

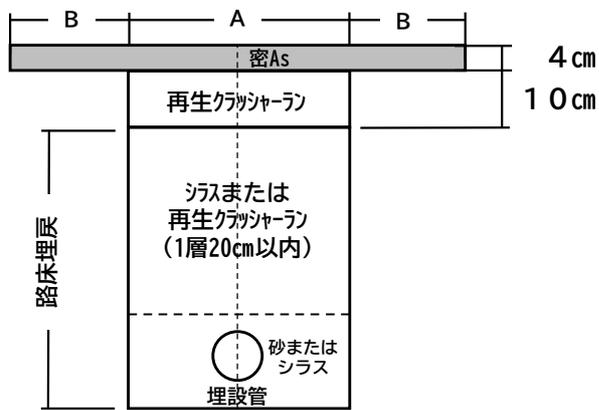
歩道舗装については、下表のとおり、区分Ⅰ、Ⅱを設定し、4トン車以上に対応するため、区分Ⅲを設け、車道舗装N₃（L交通）並みの舗装構成とする。

アスファルト舗装	一般歩道部	①アスファルト（区分Ⅰ）
	4 t 車未満の走行	②アスファルト（区分Ⅱ）
	4 t 車以上の走行あり	③アスファルト（区分Ⅲ）
透水性舗装	一般歩道部	④透水性舗装（区分Ⅰ）
	4 t 車未満の走行	⑤透水性舗装（区分Ⅱ）
	4 t 車以上の走行あり	⑥透水性舗装（区分Ⅲ）
インターロッキング舗装	一般歩道部	⑦インターロッキング（区分Ⅰ）
	4 t 車未満の走行	⑧インターロッキング（区分Ⅱ）
	4 t 車以上の走行あり	⑨インターロッキング（区分Ⅲ）
タイルなどの化粧材舗装	一般歩道部	⑩タイル化粧材（区分Ⅰ）
	4 t 車未満の走行	⑪タイル化粧材（区分Ⅱ）
	4 t 車以上の走行あり	⑫タイル化粧材（区分Ⅲ）
セメント舗装	一般歩道部	⑬セメント舗装（区分Ⅰ）
	4 t 車未満の走行	⑭セメント舗装（区分Ⅱ）
	4 t 車以上の走行あり	⑮セメント舗装（区分Ⅲ）

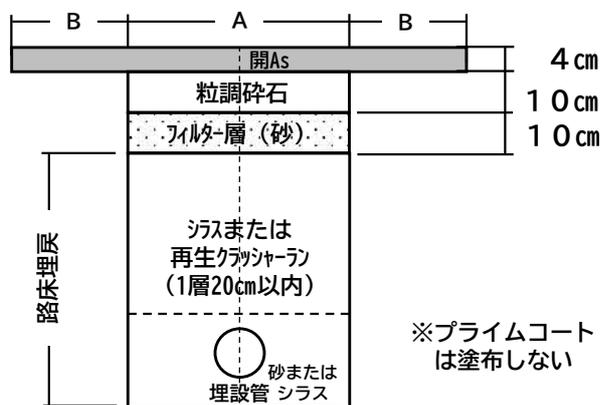


標準断面図 (歩道部①)

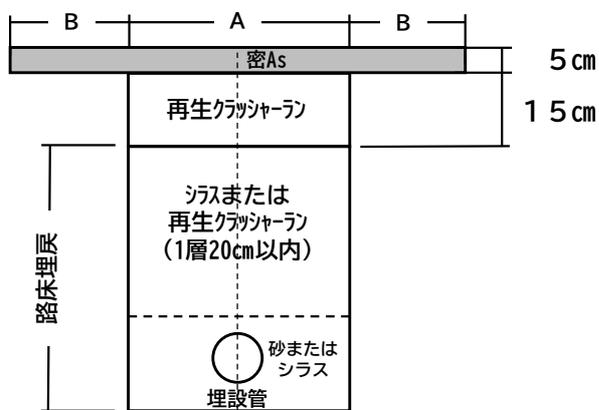
① アスファルト系舗装 (区分Ⅰ)



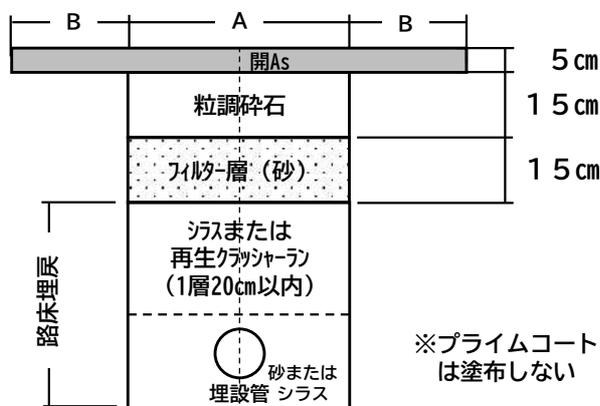
④ 透水性舗装 (区分Ⅰ)



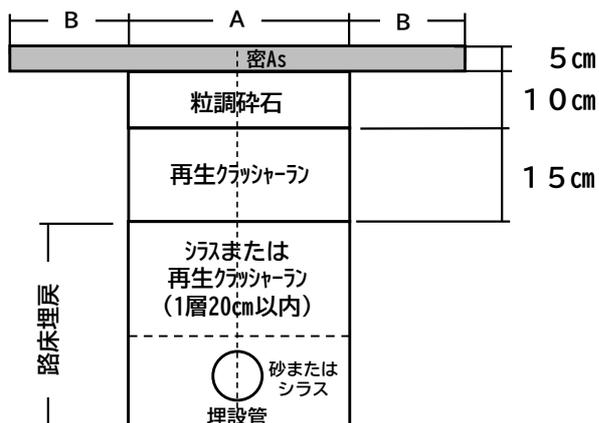
② アスファルト系舗装 (区分Ⅱ)



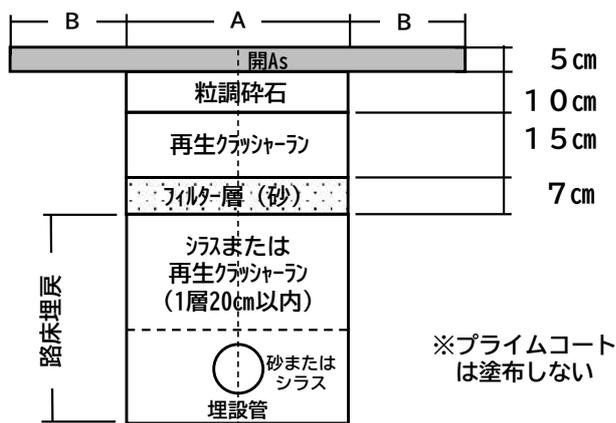
⑤ 透水性舗装 (区分Ⅱ)



③ アスファルト系舗装 (区分Ⅲ)



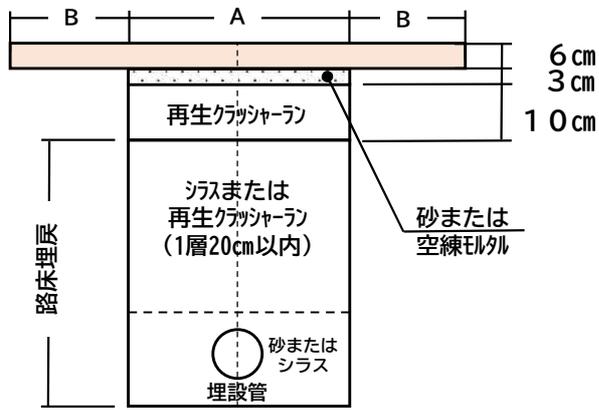
⑥ 透水性舗装 (区分Ⅲ)



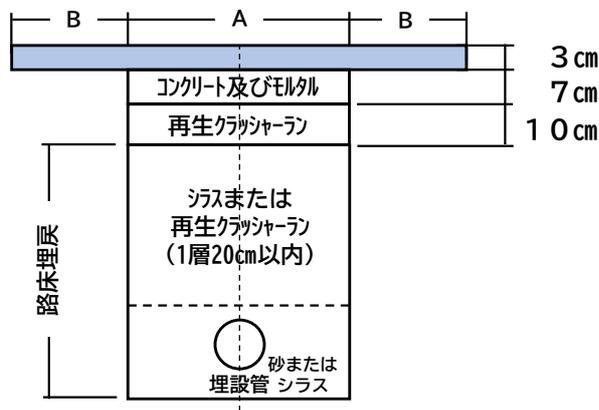


標準断面図 (歩道部②)

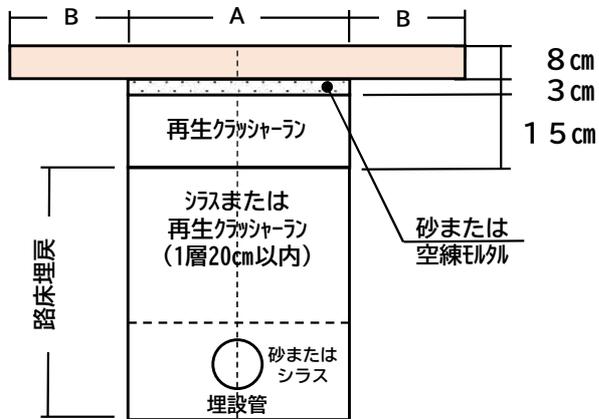
⑦ インターロッキング舗装 (区分Ⅰ)



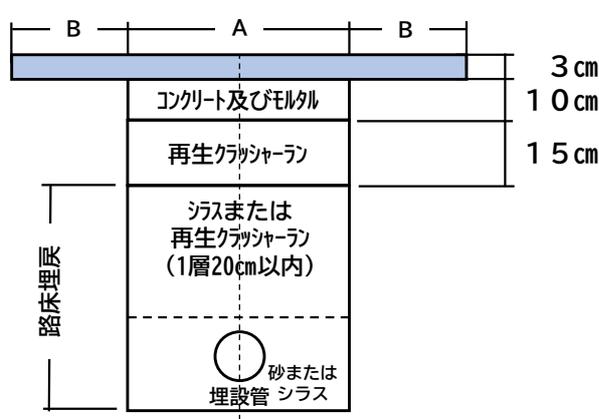
⑩ タイルなどの化粧材 (区分Ⅰ)



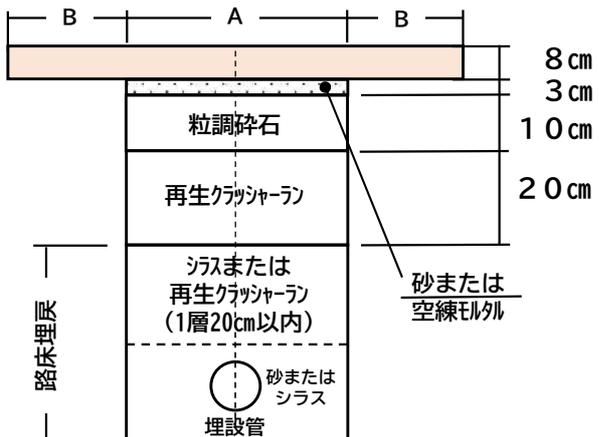
⑧ インターロッキング舗装 (区分Ⅱ)



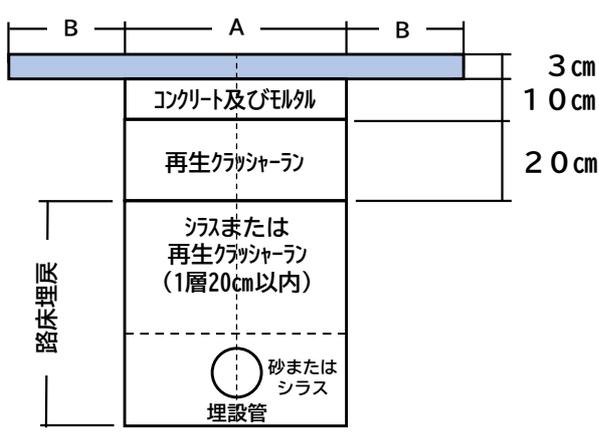
⑪ タイルなどの化粧材 (区分Ⅱ)



⑨ インターロッキング舗装 (区分Ⅲ)



⑫ タイルなどの化粧材 (区分Ⅲ)

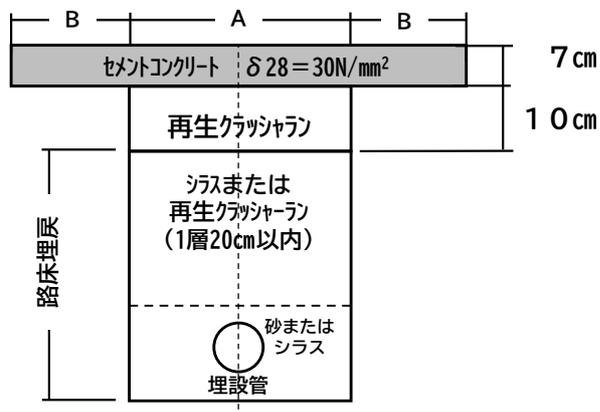




標準断面図 (歩道部③)

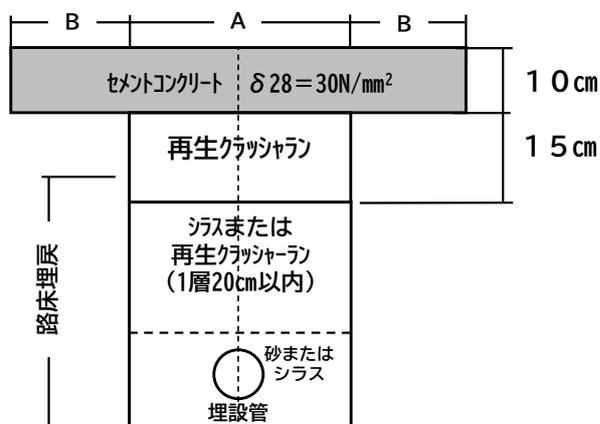
⑬ セメント舗装

(区分Ⅰ)



⑭ セメント舗装

(区分Ⅱ)



⑮ セメント舗装

(区分Ⅲ)

